



いのち支える



# いのち支える自殺対策推進センター ニュースレター 第8号 (2022.6.6)



いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）のニュースレターにご登録いただき、どうもありがとうございます。本号では、ゴールデンウィーク期間とその直後に報じられたお二人の有名人の逝去に関するメディア関係者各位への注意喚起、自殺研究の成果を対策の現場に還元するための研究成果報告会の開催、国際学会での世界に向けた情報発信等、JSCPの多様な取り組みについてご報告いたします。

## ニュースレター第7号トピックス

1. 【自殺報道への注意喚起】5月5日、11日 有名男性俳優・タレントお二人の逝去に伴う注意喚起について
2. 【レポート公開】革新的自殺研究推進プログラム「自殺対策推進レアル」（令和3年度委託研究成果報告会）を開催しました
3. 【国際学会発表報告】国際自殺予防学会（IASP）のアジア・太平洋会議でJSCPの取り組みについて発表しました
4. 【調査結果の公開】「新型コロナウイルス感染症拡大による活動の影響に関する民間団体へのアンケート2021」の結果を公開しています
5. 【レポート公開】「第5回 生きることの包括的支援のための基礎研修」を開催しました

### 1. 【自殺報道への注意喚起】5月5日、11日 有名男性俳優・タレントお二人の逝去に伴う注意喚起について

5月5日に俳優の渡辺裕之さん、同11日にタレントの上島竜兵さんの急逝が報じられました。著名人の自殺に関する報道で、その手段や場所等の詳細を報じることは、その内容や報じ方によっては、とりわけ子どもや若者、自殺念慮を抱えている人に強い影響を与えかねません。JSCPでは同5日と11日の両日、メディア関係者の皆様に対しに厚生労働省と連名で、WHO『[自殺対策を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識 2017年版](#)』（いわゆる『WHO自殺報道ガイドライン』）を踏まえた報道の徹底をお願いするリリースを配信しました。

11日の報道では、一部メディアでWHO自殺報道ガイドラインに反する報道がみられたため、同日中に再度リリースを配信し注意喚起を行いました。

5月5日配信のリリースはこちら

<https://jscp.or.jp/assets/img/a883ce1a111610b969672d08009a179aea727233.pdf>

↓次頁に続く

5月11日配信のリリースはこちら

【1回目】

<https://jscp.or.jp/assets/img/7c6e0ce0b3868cc7918e5da128232dfd429959d5.pdf>

【2回目】

<https://jscp.or.jp/assets/img/88649057e2ae2554bfdd33a0de9abd367ab20681.pdf>

また、JSCPでは、あるべき自殺報道の姿をメディア関係者の皆様と共に考えていきたいという思いから、昨年度からメディア関係者向けの「自殺報道のあり方を考える勉強会」を開催しています。これまでに2度開催し、今後も続けていく予定です。過去の勉強会の内容については、下記のレポートで詳しくご報告しています。

【第1回勉強会】メディアの取り組み事例の報告

[https://jscp.or.jp/action/jisatsu\\_benkyokai\\_report0810.html](https://jscp.or.jp/action/jisatsu_benkyokai_report0810.html)

【第2回勉強会】ニュースアグリゲーター、SNS事業者の取り組み報告

[https://jscp.or.jp/action/jisatsu\\_benkyokai\\_report211219.html](https://jscp.or.jp/action/jisatsu_benkyokai_report211219.html)

## 2. 【レポート公開】革新的自殺研究推進プログラム「自殺対策推進レアルール」（令和3年度委託研究成果報告会）を開催しました

JSCPは5月16日、革新的自殺研究推進プログラムにおいて、自殺対策推進レアルール（令和3年度委託研究成果報告会）を開催しました。革新的自殺研究推進プログラムは自殺総合対策大綱に明記された、官民横断型の自殺対策に関する総合的な研究プログラム（研究事業）です。4回目の今回は、委託研究関係者だけでなく、限定的ではありますが、自殺対策の現場で日々活動している実務家（自治体の自殺対策担当者）や自殺対策に関係する他の学会の方々にも初めて参加者を募り、全国から100名を超える方々にご参加いただきました。

詳しくは、下記よりレポートをご覧ください

[https://jscp.or.jp/research/detail/program\\_220516\\_report.html](https://jscp.or.jp/research/detail/program_220516_report.html)

「革新的自殺研究推進プログラム」とは？

<https://jscp.or.jp/research/program.html>

## 3. 【国際学会発表報告】国際自殺予防学会（IASP）のアジア・太平洋会議でJSCPの取り組みについて発表しました

国際自殺予防学会（IASP）のアジア・太平洋会議が、5月3日～5日にオーストラリアのゴールドコーストで開催されました。JSCPからは、調査研究推進部部長代理の高橋義明が日本の自殺サーベイランスシステムについて基調講演した他、新型コロナウイルス感染症と日本の自殺に関する分析結果を報告するシンポジウムを担当した他、日本の自殺対策戦略に関する報告やJSCPが自治体向けに実施する支援プログラムについて、さらには自殺報道への取り組み等に関する発表（計6件）を行いました。日本やJSCPの取り組みを世界に発信すると同時に、他国の自殺対策関係者と交流を深め、より効果的な対策を実施するための連携についても意見を交わしました。（次号で詳細に報告します。）

国際自殺予防学会（IASP）のHPはこちら

<https://www.iasp.info/>

↓次頁に続く

また、IASP事務局からJSCPに対し、Mindframe Guideline（オーストラリア政府が助成する団体のガイドライン）をもとに学会参加者向けに自殺関連用語を使用する際の注意点をまとめたLanguage Guidelines（「参加者に留意してほしい言葉づかい」）の日本語版作成の依頼があり、JSCPが作成しました。

詳しくは、こちら [https://jscp.or.jp/news/220516\\_2\\_.html](https://jscp.or.jp/news/220516_2_.html)

#### 4. 「新型コロナウイルス感染症拡大による活動の影響に関する民間団体へのアンケート2021」の結果を公開しています

JSCPは、長引くコロナ禍において、自殺防止や自死遺族等支援に取り組む民間団体の活動状況を把握すべく、令和2年4月に実施し同年5月に公表した「新型コロナウイルス感染症拡大による活動への影響に関する緊急アンケート調査」のフォローアップとして、「新型コロナウイルス感染症拡大による活動の影響に関する民間団体へのアンケート2021」を実施し、その結果をHPで公開しています。

調査の結果、回答団体の約半数が依然として「活動を制限」せざるを得ない状況にあることが明らかとなりました。

調査結果はこちら [https://jscp.or.jp/news/220331\\_.html](https://jscp.or.jp/news/220331_.html)

#### 5. 【レポート公開】「第5回 生きることの包括的支援のための基礎研修」を開催しました

自治体の自殺対策担当者らを対象に、「被災から復興、平時における地域への介入と自殺対策」をテーマとした研修を開催しました。阪神・淡路大震災、北海道胆振東部地震での被災経験を持つ自治体より、被災直後から復興期、平時の取り組みをご報告いただきました。

詳しくは、下記よりレポートをご覧ください

[https://jscp.or.jp/training/houkatsuteki\\_kisokenshu\\_220228.html](https://jscp.or.jp/training/houkatsuteki_kisokenshu_220228.html)

---

■YouTubeの「JSCP\_広報室」チャンネルで、研修動画等を順次公開予定。ぜひご登録ください。

<https://www.youtube.com/channel/UCNWP2O5zTuul-j8GITEKzHQ>

今後も、JSCPをどうぞよろしくお願いたします。

なお、配信停止をご希望の場合には、以下のページから、お手続きをお願いいたします。

<https://jscp.or.jp/newsletter/>

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 [news@jscp.or.jp](mailto:news@jscp.or.jp)



<https://www.facebook.com/JSCP.press>



[https://twitter.com/JSCP\\_press](https://twitter.com/JSCP_press)